

製品安全データシート


作成日：2021/04/01

第 1 版

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	乳酸
製品名	クリカリーFW-2010S
推奨用途	食品添加物同等素材、スケール防止、化学品用途
会社名	クリタック株式会社
住所	東京都中野区本町2丁目46番1号
電話番号	03-5308-1302
FAX番号	03-3379-5288
緊急連絡先	03-5308-1302（製品についてのお問合せはこちらへお願いします。）

2. 危険有害性の要約

GHS分類	皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2-H315 区分1-H318
GHSラベル		
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	皮膚刺激 重篤な眼の損傷	
注意書き	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。	
皮膚に付着した場合	多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぐこと。	
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに医師に連絡すること。	

3. 組成、成分情報

化学物質名	乳酸
別名	L(+)-乳酸 2-ヒドロキシプロパン酸 L-(+)-Lactic acid S-2-Hydroxypropionic acid
含有量	20% ±2%
化学式	CH ₃ CHOHCOOH
官報公示整理番号 化審法	(2)-1369
CAS番号	79-33-4(L(+)-乳酸として)
EC番号	201-196-2
REACH registration number	01-2119474164-39-0000

4. 応急措置

一般的なアドバイス	暖かく安静にしておく。症状が長引く時、または疑わしい場合は、医師の指示を受ける。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
目に入った場合	大量の水で直ちに洗浄する。最初の洗浄後、コンタクトレンズを外し、少なくとも15分間継続して洗浄する。医師に相談する。
皮膚に付着した場合	汚染された衣服と靴を脱ぎ、直ちに石鹼と多量の水で洗い流すこと。 医師に相談すること。
経口	口をすすぐこと。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てを受けること。
吸入	新鮮な空気のある場所に移動する。症状が出た場合には、直ちに医師の手当てを受けること。
主要な兆候	眼に入った場合 灼熱感、発赤、痛み 皮膚に付着した場合 掻痒感、発赤
応急措置をする者の保護	個人用保護具を着用すること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。
医師に対する注意事項	症状に応じて治療すること。呼吸困難な場合は、酸素を供給すること。 症状は遅発性の場合があるので、該当者を観察すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素(CO ₂)
使ってはならない消火剤	火災を広げるおそれがあるので、棒状水を使用しないこと。
特別な危険有害性	特になし。
火災時の措置	関係者以外は退避すること。リスクを伴わずに行えるのであれば、容器を火災区域から移動させること。水スプレーで、容器および周辺を冷却すること。消火に使用した水が地表水系または地下水系を汚染するのを防ぐこと。
消火を行う者のための特別な保護具	自給式呼吸装置および保護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

個人に対する注意事項	人員を安全な区域に非難させること。漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。保護具を使用する。十分換気されているか確認すること。
環境に対する注意事項	環境中に放出しないこと。安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	<p>大量 安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。大規模な流出を防ぐ。バーミキュライト、砂または土などの不燃性材料を用い、製品をすくい取って容器に入れ、後で廃棄すること。製品の回収後、区域を水で洗い流すこと。</p> <p>少量 吸着材料(例えばフリース)で拭き取る。浄化後、痕跡を水で洗い流すこと。回収したものの使用を避けるために、製品を容器に戻してはならない。</p>

7. 取り扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。蒸気またはミストを吸い込まないようにすること。十分換気されているか確認すること。保護具を着用する。取扱後は手をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
技術対策/保管条件	現地の規則に従って保管すること。容器を密閉して涼しく換気のよい場所に保管すること。酸化剤との接触を避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

被爆限度	許容濃度が設定されている物質を含有していない。
生物学的限界値	未確定
推奨される監視手順	利用可能な情報はない。
適切な設備対策	特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること。温度を200°C/392°F以下に保つこと。洗眼台および安全シャワーが必ず作業場所の近くであることを確認すること。 衛生的に、安全に取り扱ってください。
個人保護具などの個人保護措置	
目の保護	サイドシール付き安全眼鏡(EN166)
手の保護	保護手袋(EN374): ブチルゴム、手袋の厚さ: 0.5mm、破過時間: >8時間 不適切な物質 天然ゴム、ニトリルゴム、フッ素ゴム、PVC
皮膚および身体の保護	長袖の衣類
呼吸用保護具	換気が十分でない場合は、適切な呼吸装置を着用する。(EN141)
衛生対策	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。労働者は適用される規制下での一般的な本製品の使用方法と取扱の訓練を受けなければならない。本製品の使用中に飲食又は喫煙をしないこと。休憩前及び製品の取扱い直後に手を洗うこと。汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。
環境暴露防止	本製品が、排水や水路、地面に流れ込まないように留意する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	液体(20°C)
外觀	透明
色	無色/黄味があった
臭い	特異臭
pH	<1.2(@25°C)
融点/凝固点	利用可能な情報はない。
沸点/沸点範囲	120-130°C/249-266°F(@1013hPa)
引火点	該当せず
蒸発速度	該当せず
燃焼性(固体、気体)	利用可能な情報はない。
空気中での可燃性限界	利用可能な情報はない。
爆発限界	該当せず
蒸気圧	該当せず
蒸気濃度	該当せず
溶解度	水への溶解度:混和性
分配係数(n-オクタノール/水)	-0.62
自然発火温度	>400°C/>752°F(溶液93%w/w)
分解温度	>200°C/>392°F
動的粘度	5-60mPa.s(@25°C)
爆発性	該当せず
酸化特性	該当せず
密度	1.2g/cm3(@20°C/68°F)
表面張力	44-50mN/m(@50-90%)

10. 安全及び反応性

安定性	推奨される保存条件下で安定
危険有害性反応	利用可能な情報はない。
避けるべき条件	200°C/392°Fを超える温度
避けるべき物質	酸化剤
危険有害な分解性生物	通常の状態ではなし。
反応性	知見なし

11. 有害性情報

急性毒性	経口	既知の影響なし
	皮膚接触	既知の影響なし
	吸入	既知の影響なし
	化学物質名	L(+)-乳酸
	LD50 経口	3543mg/kg(Rat,female) 4936mg/kg(Rat,male)
	LD50 皮膚	>2000mg/kg(Rabbit)
LC50 吸入した場合	>7.94mg/L(Rat)4h mist	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	混合物;皮膚刺激	
眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	混合物;重篤な眼の損傷	
	化学物質名	L(+)-乳酸
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	OECD 404, In vivo, ウサギ, 溶液(88%) 結果:刺激性
	眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性	OEET, Ex vivo, 溶液(88%) 結果:眼に対する重篤な刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性	既知の影響なし	
生殖細胞変異原性	遺伝性の遺伝子損傷を引き起こす可能性を示す情報はない。	
発がん性	発がん物質として記載されている物質の含有なし。	
生殖毒性	出生異常の原因となったり、発育中の胎児への悪影響は確認されていない。生殖能力や生殖器官への悪影響は確認されていない。	
STOT単回暴露	呼吸器への刺激のおそれ。	
STOT反復暴露	既知の影響なし	
吸引性呼吸器有害性	既知の影響なし	
主要な兆候	眼に入った場合 灼熱感、発赤、痛み 皮膚に付着した場合 搔痒感、発赤	

12. 環境影響情報

生態毒性	環境に有害だといわれている物質は含有していない。
残留性・分解性	易生物分解性
生態蓄積性	生物濃縮されない。
土壌中の移動性	利用可能な情報はない。

13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。
汚染された梱包	空の容器は、認可を受けた廃棄物取り扱い施設に搬入して再利用または廃棄すること。

14. 輸送上の注意

ADR, RID, AND, IMDG, IATA/ICAOにより	
UN/ID番号	規制されていない。
正式輸送品目名	規制されていない。
危険有害性クラス	規制されていない。
容器等級	規制されていない。
海洋汚染物質	該当せず
MARPOL付属文書ⅡおよびIBCコードによるバラ積み輸送	該当せず
特別安全対策	利用可能な情報はない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	該当せず
消防法	該当せず
船舶安全法	該当せず
航空法	該当せず
港則法	該当せず

16. その他の情報

参考文献	1) 独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE) GHS分類結果 2) 職場の安全サイト 3) CLP(Regulation on Classification, Labelling and Packaging of substances and mixtures) 4) Chemical safety assessment
この安全データシートは「JIS Z 7253」を参照し、作成しています。	

この安全データシートの記載内容は現時点で入手できた知識・情報・確信に基づいたものです。内容に関しましては、安全な取り扱い・使用・過程・保管・輸送・処分・事故防止の為の指導書として作成されたものであり、いかなる保証や品質規格をなすものではありません。また、指定の規格原料についてのみを対象としたものですので、あらゆる過程における他のいかなる原料との混合物については効力がありません。